

2004年度 環境管理活動報告書



新生化学工業グループは、この蛙のように**水の中(社内の管理)**だけでなく**水面の上(社外の環境)**にも目を向け、自然環境との調和を経営の重要課題の一つとして、社員全員の環境に対する意識の向上を図り、広い視野で未来を見つめてゆきたいと考えております。



新生化学工業株式会社

<http://www.shinsei-shiga.co.jp/>

「金型・成形 ^{アルファ} プラスα企業」に成長しています。

会社概要

商号	新生化学工業株式会社
代表者	代表取締役 宮田 陽一
所在地	本社/滋賀県大津市蓮池町6番12号
連絡先	TEL077-524-7101 FAX077-524-6093
URL	http://www.shinsei-shiga.co.jp/
創業	昭和38年4月1日
資本金	3,300万円
従業員数	250名 (2005年3月現在)
年商	31億円 (グループ全体、2005年3月現在)
事業所	本社事業部、市場開発研究所、豊岡事業部、新旭事業部
関連会社	新生加工株式会社、シンセイコーポレーション(米)
国際規格	ISO9002(1996年4月認証取得)認証番号JQA-1229 ISO9001(2000年版取得、2002年4月) ISO14001(1999年3月認証取得)認証番号JQA-EM0389

事業内容

精密プラスチック成形部品設計・製造・販売
 電子・電池・OA機器・自動車・医療機器・公共事業関連等の精密プラスチック部品設計・製造・販売
 ICタグ設計・製造・販売
 射出成形用金型設計・製作
 各種成形機周辺機器設計・製作

会社沿革

- 昭和38年04月 現会長宮田庸生がエアソール部品の開発により大津市雲雀丘にて事業開始
- 昭和40年07月 現在地に移転、株式会社に組織変更
- 昭和47年11月 兵庫県豊岡市に豊岡工場（現豊岡事業部）を設立創業
- 昭和55年11月 本社工場（現本社事業部）増設
- 昭和55年12月 新生加工（株）を設立
- 昭和59年10月 新工場建設予定地に隣接して、新旭町に新旭仮工場を設立創業
- 平成01年11月 新旭工場（現新旭事業部）を設立・仮工場より移転創業
- 平成07年09月 本社工場隣接地に「市場開発研究所」を設立
- 平成08年09月 アメリカ・アトランタにSHINSEI CORPORATIONを設立
- 平成11年03月 ISO14001認証取得
- 平成12年05月 滋賀県環境保全協会より「優良事業所」表彰
- 平成12年09月 兵庫県豊岡市豊岡中核工業団地に豊岡工場（豊岡事業部）を新築移転
- 平成13年02月 大津市環境保全協定締結
- 平成17年05月 SHINSEI CORPORATION ISO14001認証取得

新生化学工業株式会社環境方針

基本理念

新生化学工業株式会社は地球環境の保全に努め、自然環境と調和し、プラスチック成形生産、二次加工生産活動と環境との共存をめざします。

環境方針

新生化学工業株式会社は、プラスチック成形、金型、設備機械、二次加工の生産会社として、生産、販売活動をする事業場です。

当社は環境マニュアルを制定し、以下の環境活動を行います。

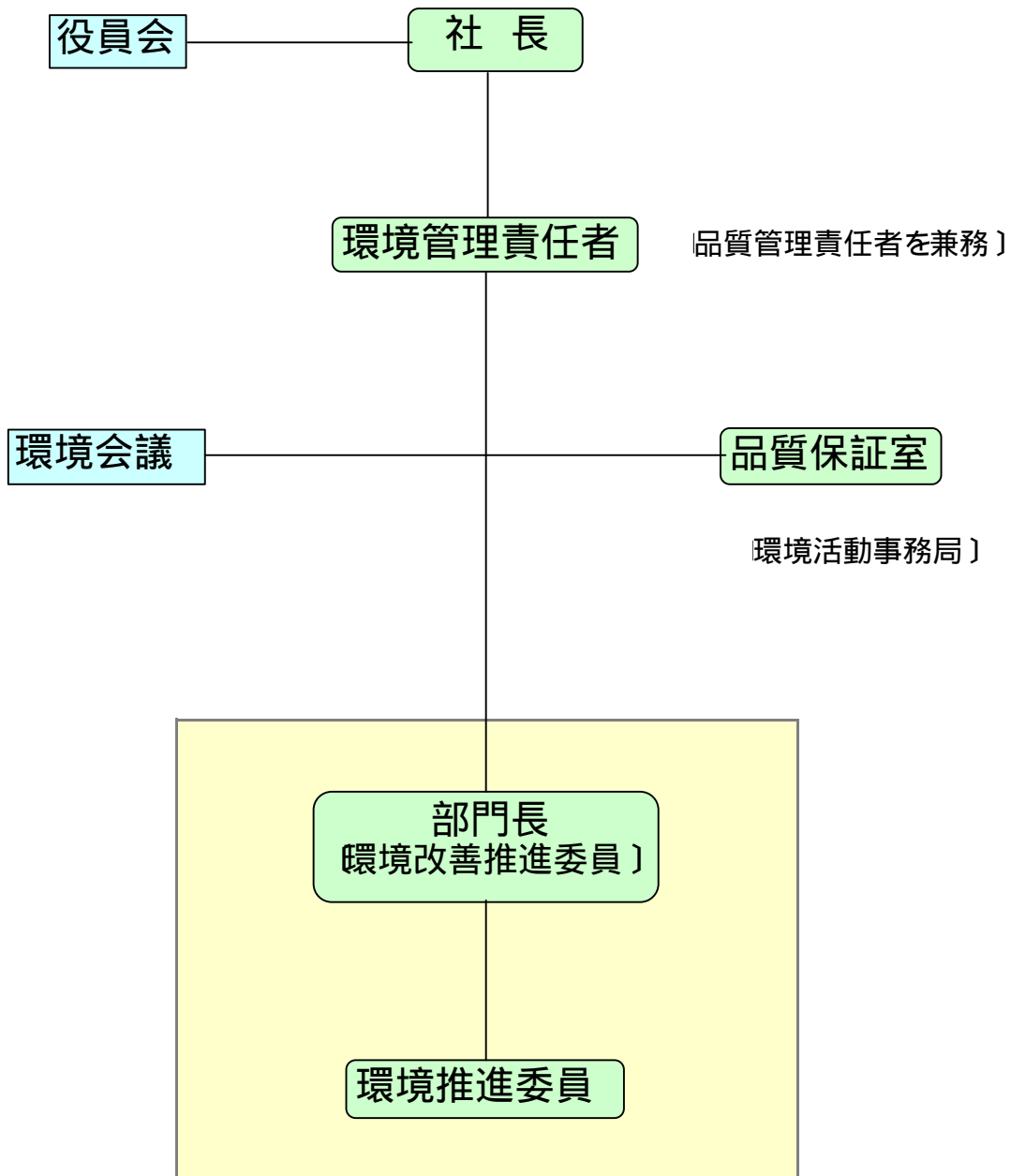
- 当社の事業活動、製品、及びサービスに係わる環境側面を特定しISO-14001の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを構築し、維持します。
- 当社における環境方針遂行のための具体的な目的・目標を 制定し、定期的に見直しを行い、環境管理システムの継続的な改善を図ります。
- 環境関連の法律、規制、協定または市、地域が受け入れ当社が同意するその他の要求事項を厳守し、環境汚染を予防します。
- 環境負荷低減のために次の項目に取り組みます。
 - ①地球環境に優しい技術を確立します。
 - ②省エネルギー（省電力）に努めます。
 - ③廃プラスチック等の減量及び再資源化を努めます。
 - ④グリーン購入を推進します。
- 社員、パート、アルバイト、派遣社員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行います。

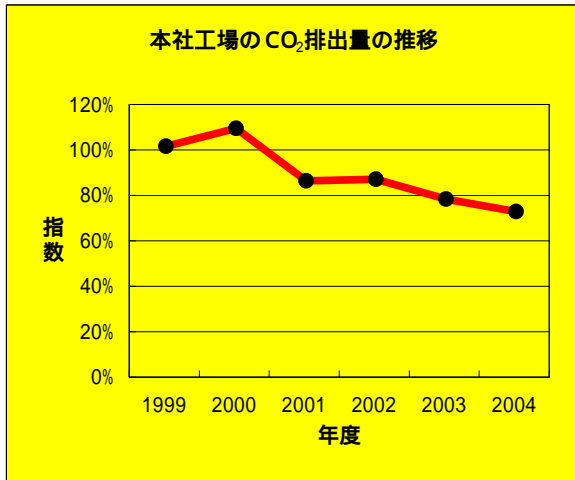
環境方針の周知・公開

環境方針は、職場への掲示を行ったり、環境方針カードを社内全員に携帯させ認知させます。また、社外の方には、パンフレットを作成し、ご要望に応じて配布することで公開します。

2002年2月8日

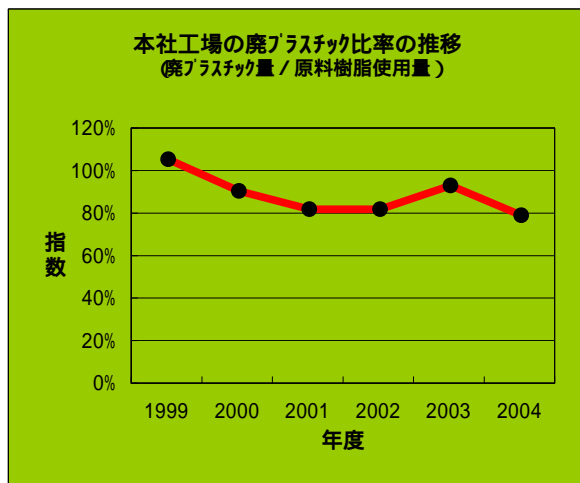
新生化学工業株式会社
代表取締役社長 宮田庸生





工場から排出されるCO₂の約90%は電力の使用によるものです。省エネ型の成形機を積極的に導入し、2005.3月現在で約40%の成形機が省エネ型に切り替わっています。

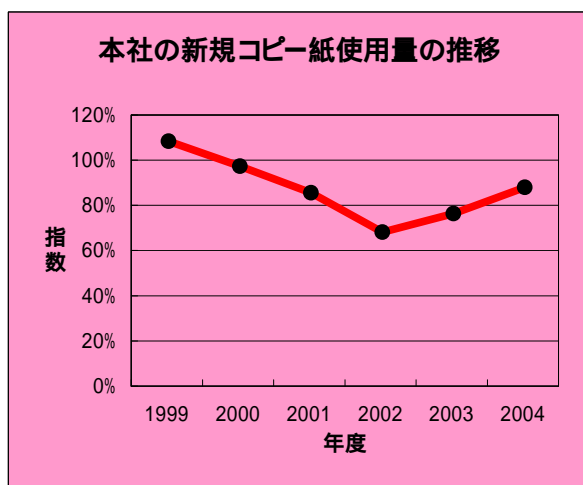
(1999年を100とする)



工場から排出される廃棄物(リサイクル用途も含む)は廃プラスチック、金属屑、紙・ダンボール類、廃油、蛍光灯管等があります。

そのうち約70%は廃プラスチックとリサイクル用途向けのプラスチックです。廃プラスチックロスが少ない金型の採用や品質改善活動の推進、外部でのリサイクルを積極的に進めています。

(1999年を100とする)



裏紙使用により使用量の削減と、今後は電子メールの使用を進めています。

(1999年を100とする)

2004年度からカウントできなかった分をカウントするように変更しました。

環境教育

6/7



環境一般教育 2004年8月

ビデオによる研修を行いました。
ゼロエミッション と 潮力発電
について勉強しました



環境一般教育 2005年1月

ビデオによる研修を行いました。
プラスチックのリサイクルと
中国のリサイクルの情報
について勉強しました

訓練



火災避難訓練 2004年12月

金型工場 1F より出火。
駐車場への避難訓練を行いました。

今回は、水消火器を用いて
消火活動の訓練を行いました。
避難訓練も同時に行いました。



清掃活動

7/7

定期的に工場周辺及び通勤路等の清掃活動を実施しています

